

山県の自然に親しむ！森と川の学校の実施

山県市には面積の約80%を占める森林があり、美しく清らかな谷や川が存在しています。未来を担う子どもたちが、これらの豊かな自然に恵まれた「ふるさと山県」に誇りをもち、仲間と協働して「考え」「行動」できるように、6月13日から3日間にわたって実施された「やまがた 森と川の学校」に5年生が参加しました。



武儀川で活動を楽しむ子どもたちと偶然、体験した太陽のハロ現象

第1日目は、北武芸公民館付近の武儀川で「川のミッション」に臨みました。最初の指令として「美山の川の美しさに触れ、ここでしかできない活動を考える」をうけ、グループで相談しながら、学年全員で楽しめる遊びを考えました。午後は、冷たい川に入り、自分たちで考えた水中の生き物観察や、水中ケイドロ（鬼ごっこ）を行いました。

2日目は、グリーンプラザみやまにて、「森のミッション」に取り組みました。森を散策し、ガイドの先生から色々な種類の植物や生活の中に生かせるものを教えてもらいました。天候には恵まれず雨の中での研修でしたが、雨の森で遭難したときに使える指笛等の技術も学ぶことができました。また、「最高に美味しい焼きマシュマロを作れ」の指令により、火をおこし、炎を調整して、串に刺したマシュマロを焼いて食べました。

3日目は、選択活動です。サバイバルをテーマとしたプログラムや、竹・小枝・川原の石等を使用した工芸を体験するプログラムなど9つの活動から選択して体験しました。

3日間を通して、学校では学ぶことのできない自然の美しさと怖さを身体で実感することができました。そして、自分で考え、方法を決断し、実行するという活動を通して、たくましさを少し身につけることができました。

願いをもった委員会活動

児童会活動が盛り上がっています。執行委員会では、学校生活を向上させるために、時間を守って生活することに目を向け、5月のキャンペーンを企画しました。今も、朝の挨拶の呼びかけと同時に、時間を守ることを働きかけています。時間の行動に呼応するように、給食委員会では、配膳のスピードアップに取り組むことで、給食を残さず食べる時間を生み出そうとしています。体育委員会は、右側歩行の取組を通して、落ち着いた生活をめざしています。

福祉委員会の水やり、図書委員会の図書館まつり、保健委員会の水質検査、美化委員会の下足箱の整頓と、どの活動も、学校生活への願いを実現させるために働きかけています。ご家庭でも、お子さんの学校生活への願いや活動について、話題に取り上げてみてください。



朝の呼びかけの様子